

根室振興局河川減災対策協議会

減災に係る取組状況 (各機関の取組事例)

総合防災訓練、こども防災・減災事業の実施

(根室市の取組事例)

- ◆ 国内有数の地震多発地帯である根室市において、今後起こりうる地震・津波災害を想定し、災害発生時における関係機関の迅速な初動体制の構築、また各種の2次災害に対処するため、根室市地域防災計画に基づく通信・避難・消火・救助等の訓練の実施、各関係機関との緊密な連携の強化や、総合的な防災活動の効率的な実施並びに広く防災思想の普及を図ることを目的とし、総合防災訓練を実施した。
- ◆ 市内小・中学校全校を対象として、「災害時に命をまもる」「助けることができるようになる」「防災文化の継承」などを目的として継続的な防災教育の取組みを推進し、また、児童生徒への防災教育を通じて、「家庭への持ち帰り」「地域への広がり」など、地域防災力の向上をはかるため、「こども防災・減災推進事業」を実施した。

根室市総合防災訓練

- ・ 令和元年9月3日（火）
- ・ 参加機関：19機関、協力機関：16機関
- ・ 参加人数：2,588人
- ・ 訓練内容：情報伝達訓練、倒壊家屋救出救助訓練、漂流者搜索救助訓練、連携消火訓練、車両事故救出救助訓練、巡視船による住民避難訓練 等



こども防災・減災事業

- ・ 実施期間：令和元年4月1日～令和2年3月31日
- ・ 根室市内11の小中学校にて実施
- ・ 避難訓練への協力、防災教室、初期消火訓練 等
- ・ 令和2年度も継続して実施



(別海町の取組事例)

- ◆ 住民及び観光客や市町外への通勤、通学者等に対する、平時及び発災時の効率的でわかりやすい情報発信方法の検討
- ◆ 根室管内の特徴を踏まえた幼少期からの防災教育の促進

防災行政無線整備事業(令和元年度～2年度)

- ・防災行政無線のデジタル化に伴い、既存の海岸地区に加え、内陸地区へ防災行政無線屋外拡声子局を設置



一日防災学校

- ・令和元年10月21日(月) 中西別小学校
- ・各学年などのグループに分かれ、災害に関する授業や、避難所運営ゲーム(Doはぐ)を実施



防災セミナーの実施

（中標津町の取組事例）

- ◆ 冬季の災害発生を想定し、町民の防災意識の高揚と災害対応能力を養うことを目的として、町民を対象とした防災セミナーを実施した。

取組の具体的な内容

- ・ 令和元年10月6日（日） 中標津町役場庁舎
- ・ 防災講話、段ボールベッド作成、レスキューキッチンの使用体験等、発電機・EV車の発電体験、避難所体操体験、グループ討議 等



危機管理型水位計の設置、多機関連携型タイムラインの発足

(標津町の実施事例)

- ◆ 取組を行った内容 ① 危機管理型水位計の設置(伊茶仁川・ポー川合流地点付近)
- ◆ 取組を行った内容 ② 標津川標津地区水害対応タイムライン発足

取組の具体的な内容

・うねりによって土砂が打ち上げられ、河口が閉塞されることによりダムアップされ最終的に人家への浸水被害が懸念される伊茶仁川・ポー川対策として、危機管理型水位計を合流地点に設置し、監視体制の強化と地域住民への水位周知の仕組みを整備した。



取組の具体的な内容

・標津川氾濫のソフト対策として、関係各機関が予め行動を時系列に整理しておく、いわゆるタイムラインの作成事業を、建管、気象台と共同で開始し、令和元年度は準備会、発足式、第1回検討会、記念防災講演会を実施した。



防災教育「一日防災学校」、冬期避難所設営訓練

(羅臼町の実施事例)

- ◆ 町内の小学校(1校)の1学年から6学年まで、全生徒を対象として防災の要素を取り入れた授業を実施し、シェイクアウト訓練や特殊車両の見学、防災備蓄品の使用方法等を学習した。
- ◆ 災害は時期を選ばず発生し、当町は冬期の悪天候による国道の通行止めが度々発生するため、帰宅困難者等を受け入れることを想定した、冬期避難所運営訓練を実施した。

<防災教育「一日防災学校」>

- ・令和元年9月11日(水)
- ・羅臼小学校 1学年から6学年まで
- ・消防や自衛隊等の特殊車両の展示や、防災備蓄品の使用方法、北海道教育大学釧路校の学生による津波学習等を実施した。なお、地域住民の見学も可能とした。



特殊車両見学



津波学習

<冬期避難所設営訓練>

- ・令和2年2月21日(金)
- ・峯浜町コミュニティセンター(避難所) 町職員 23名参加
- ・冬期の避難所設営に必要な資機材(発電機や投光器、暖房器具)の使用方法や、非常時の通信手段確保のため衛星携帯電話による通信訓練を実施した。



避難所設営



通信訓練

防災関係機関との連携、防災訓練等への参加

(北海道警察の取組事例)

- ◆ 円滑な災害応急対策に資することを目的に防災関係機関と連携を確認しながら、災害発生時の救出救助訓練を実施した。
- ◆ 北海道防災総合訓練(後期)に参加するほか、各自治体が実施する防災訓練に参加して、防災関係機関との連携を深めた。

防災関係機関との連携、救出救助技術の向上

- ・ 羅臼海上保安署や消防、自治体と連携して、災害時の孤立地域における海上負傷者搬送訓練を実施した。
- ・ 標津町内で倒壊家屋を想定した救助訓練を実施した。



関係機関合同の負傷者搬送訓練



倒壊家屋を想定した救助訓練

各自治体が実施する防災訓練等に参加

- ・ 北海道防災総合訓練(後期)で避難訓練や緊急輸送訓練、防災広報活動に参加した。
- ・ 1日防災学校などで広報活動や防災講話を実施した。



羅臼小における1日防災学校



根室高校における防災広報

（釧路地方気象台の取組事例）

- ◆ 洪水警報の危険度分布における内水氾濫の危険度の表示を改善。（令和2年5月28日から）
- ◆ 大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善。（令和2年6月18日から）
- ◆ 洪水警報等基準値の見直し。（令和2年8月頃）

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善について
・「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善しました。



大雨特別警報の警報等への切替時の洪水への警戒呼びかけについて
・大雨特別警報から警報等に切り替える際、河川氾濫の危険性が高い状態が継続する場合においては、引き続き河川氾濫への注意・警戒を呼びかける防災気象情報の発表を開始します。本情報は、指定河川洪水予報の対象となる各河川に対し「府県気象情報（図形式）」により、**引き続き洪水の危険があること、大河川においてはこれから危険が高まる旨を発表します**ので、発表中の指定河川洪水予報や洪水警報の危険度分布と合わせ、各種防災対応に御活用ください。

発表例		
国土交通省 関東地方整備局 気象庁 予報部		
「大雨は峠を越えたが、洪水はこれから」		
■利根川 （最高水位となる時間帯） 利根川では、今後も水位上昇が継続し、利根川中流ではこれから9時間後に、利根川下流では12～21時間後に最高水位に到達する見込み。 （最高水位の見込み） 上流域に降った雨は、2000年の洪水に匹敵する600（mm／2日）を観測していることから、氾濫危険水位に到達するおそれあり。		
基準観測所	最高水位予想時間	水位見込み
八斗島 （群馬県伊勢崎市）	12日23：00頃 （到達済み）	避難判断水位超過 （レベル3相当）
栗橋 （埼玉県久喜市）	13日 6：00頃 （3時間後）	氾濫危険水位（レベル4相当）に到達するおそれあり
芽吹橋 （茨城県利根市）	13日 9～12時頃 （6～9時間後）	氾濫危険水位（レベル4相当）に到達するおそれあり

洪水警報等基準値の見直しについて
・過去に発生した災害資料に基づいて設定する洪水警報等の基準値は、最新の災害資料を用いて定期的に基準値の見直しを実施しています。災害資料へ新たな災害の追加などを行い、より災害を適切に捕捉できるように基準値を変更します。また、流域雨量指数の計算処理の改善も行います。

(釧路開発建設部の取組事例)

- ◆ 大雨・洪水災害時備えて災害対策用機械（排水ポンプ車及び照明車）を配備しています。また、水防資材である根固めブロックの備蓄を追加します。
- ◆ 危機管理型水位計（洪水に特化した低コストの水位計）の設置(19箇所)に加え、洪水時の危険箇所を監視するために、簡易型河川監視カメラを釧路川水系の国管理区間に設置、運用を開始した。

災害に備えた機械の配備・資材の備蓄

- ・ 大雨・洪水災害時備えて排水ポンプ車を2台、照明車1台を配備しています。
- ・ 水防資材である根固めブロック（乱積み2t型）250個の備蓄を追加しました。



災害対策車派遣状況
(令和2年3月11日下オソベツ樋門)



根固めブロック備蓄状況

簡易型河川監視カメラの設置

- ・ 洪水時の危険箇所を監視するため、簡易型河川監視カメラを、釧路川水系の国管理区間15箇所に設置した。
- ・ 設置箇所の水位情報は「川の防災情報」サイトから確認が可能となった。（一般公開を随時開始）



危機管理型水位計と同一箇所に設置された
簡易型河川監視カメラ（KP40.6 標茶町）



簡易型河川監視カメラの配信画像
(KP40.6 標茶町)

川の水位情報
<https://k.river.go.jp>



各自治体の減災の取組・防災教育への支援

(釧路開発建設部の取組事例)

- ◆ 各自治体が実施するハザードマップの作成・タイムラインの検討・防災訓練などの防災・減災への取組に対し支援を実施した。
- ◆ 自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であることから、学校教育における防災教育の支援を実施した。

各自治体の防災・減災の取組への支援

- ・ 標茶地区水害タイムラインの訓練参加など、各自治体に取り組む防災、減災の取組に対し支援を実施した。



標茶地区水害タイムラインの訓練参加

防災教育への支援

- ・ 小学生を対象に標茶町・釧路地方気象台・北見工業大学と連携し、「マイ・タイムライン」の作成を支援した。
- ・ 令和元年12月に標茶町立標茶小学校を防災教育支援のモデル校として、防災学習を実施した。



「児童自らのタイムライン」の作成・グループ発表



河道掘削・伐木の実施、粘り強い築堤の整備

(北海道の取組事例)

- ◆ 洪水氾濫を未然に防ぐため、流下能力が不足している箇所において、河川改修や、河道内の樹木や土砂の除去を実施した。
- ◆ 大雨出水時に堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばす事を目的に、重要水防区間において粘り強い築堤の整備を実施した。

河川改修及び河道内樹木や土砂の除去

- ・主に標津川を中心に計画的に実施。
- ・その他の河川も現地状況を確認のうえ、適切に実施。

粘り強い築堤の整備

- ・標津川において堤防天端舗装の実施。
H30 堤防天端舗装(路盤工) L=110m

河道掘削 施工前



河道掘削 施工後



堤防天端舗装 (路盤工)

危機管理型水位計の設置、簡易型河川監視カメラの設置

(北海道の取組事例)

- ◆ 水害リスクの高い地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計(危機管理型等)を設置した。
- ◆ 住民自らが判断して逃げる動機づけとなるよう、水位情報と併せて河川監視カメラによる画像を提供するため、水位周知河川などに加え、要配慮者利用施設等が浸水の恐れのある河川において設置。

危機管理型水位計の設置

・令和元年度までに設置：N=11箇所(根室振興局管内)
標津川、タワラマップ川、春別川、然内川、風蓮川
ますみ川、クテクンベツ川、忠類川、植別川、春茹小丹川、
知西別川



危機管理型水位計（根室市：風蓮川）

簡易型河川監視カメラの設置

・令和元年度までに設置：N=9箇所(根室振興局管内)
標津川、春別川、西別川、然内川、知西別川、
羅臼川



「川の防災情報」でのライブ配信
知西別川（羅臼町）



簡易型河川監視カメラ
（釧路管内設置の例）

- ◆ 標津川標津地区水害対応タイムラインの作成に向けて検討会の開催を行った。
- ◆ 重要水防箇所について関係機関が参加する共同点検を実施。

- ・第1回タイムライン検討会の開催(令和2年2月4日)
- ・タイムラインの導入に向けて取組を進めていく。

・日時：令和元年10月29日(火) 13:30~14:00
・場所：別海町・春別川(道道中春別橋)

検討会スケジュール

危機管理型水位計の説明

総合防災訓練、1日防災学校の実施

(北海道の取組事例)

- ◆ 市町や防災関係機関などと連携し、大規模自然災害の発生を想定した災害応急対策活動のほか、住民が参加する避難や避難所運営等の実践的な訓練を実施した。
- ◆ 小学校等の授業時間を活用し、防災に関する授業や避難訓練等を行う「1日防災学校」の取組を実施した。

北海道総合防災訓練の実施

- ・令和元年(2019年)10月18日(金)
- ・防災関係機関による物資輸送訓練のほか、根室高等学校などで、避難所運営訓練、炊き出し訓練を行った。



物資受入訓練



炊き出し訓練

1日防災学校の開催

- ・1市4町の小学校等5会場で開催。
- ・北海Do防災かるたや段ボールベット組立体験、防災クイズなどを通じて防災に関する啓発活動を行った。



北海Do防災かるた
で遊ぶ小学生



段ボールベット
組立体験